

研究成果発表会・講演会

参加費無料

日時 令和6(2024)年
2月27日(火)
13:20～15:50

場所 富山県薬事総合研究開発センター
2階 大会議室
〒939-0363 富山県射水市中太閤山17-1

- ZoomによるWEB同時配信も行います。
- WEBでご参加の場合、資料の配布はございません。
あらかじめ、ご了承ください。

講演 13:20～

「バイオ医薬品・バイオシミラーの品質安全性確保と最近の話題」



国立医薬品食品衛生研究所 生物薬品部長 石井 明子 氏

抗体医薬品に代表されるバイオ医薬品は、アンメットニーズの充足を目指して常に進化を続け、現在も次々に新しい製品が生み出されています。一方で、臨床的有用性が十分に確立された製品についてはバイオシミラーが開発・承認され、医療費削減の観点から、その普及が推進されています。本講演では、バイオ医薬品・バイオシミラーの概要と品質安全性確保のための課題についてご紹介し、日本のバイオ創薬の今後について、薬都とやまの皆様と意見交換させて頂きたいと思っております。

研究成果発表 14:45～

①富山シャクヤクのブランド化推進事業

薬用植物指導センター長 渡会 三千代

富山県薬事総合研究開発センターでは、薬効、成分等の研究により、シャクヤク園芸品種の中から薬用としても利用価値が高い品種を選定し、ブランド化を目指して、栽培、加工研究を続けてきました。これらの成果を活用し、令和5年6月には農家産「富山シャクヤク 春の粧」が製薬メーカーに初出荷されましたので、今回はこれまでの研究について報告させていただきます。

②経鼻投与ワクチンの実用化とウイルス感染予防に向けた研究

創薬研究開発センター長 相川 幸彦

自然免疫に着目した先行研究で見出した複数のアジュバント候補化合物を基に、「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造コンソーシアム事業において、粘膜アジュバント化合物の探索とその実用化に向けた性能評価、安全性及び製剤学的検討、詳細な作用機序の解析を進め、粘膜アジュバントとして有効な合成化合物の発見に至りました。本発表では、これまでの研究開発での取り組みについてご紹介いたします。

申込
方法

以下のURL（フォーム）またはFAXにてお申込みください。

お申込期限：2月20日（火）

<https://shinsei.pref.toyama.lg.jp/SksJuminWeb/EntryForm?id=KvPnrU60>



お問い合わせ

富山県薬事総合研究開発センター 研究協力課 担当：森田

TEL：0766-56-6026（代表） FAX：0766-56-7285

富山県薬事総合研究開発センター 研究成果発表会

FAX 0766-56-7285

フォームまたはFAXよりお申込みください

お申込期限 令和6年2月20日(火)

企業・団体名			
所属名			
申込担当者 氏名		役職	
連絡先	TEL:	FAX:	
	E-Mail:		
	参加者氏名	所属・役職	参加方法
1			現地参加 WEB参加
2			現地参加 WEB参加
3			現地参加 WEB参加
4			現地参加 WEB参加
5			現地参加 WEB参加

ご記入いただいた情報は、当発表会の実施に係る業務以外には使用いたしません。

お問い合わせ

富山県薬事総合研究開発センター 森田
TEL 0766-56-6026 FAX 0766-56-7285